

特集

イーハトーブの風によって

花巻空港2,500m滑走路 供用開始!

3月23日(水)、花巻空港ターミナルビルにおいて、花巻空港2,500m滑走路供用開始式並びに滑走路延長記念ハワイチャーター便出発式が行われました。

県では、花巻空港をお客様にとってより利便性の高い空港とするため、平成10年度から滑走路の延長やターミナル地域の移転・拡張整備を進めてきましたが、このたび、滑走路を500m延長し2,500mとする工事が完了し、今月の17日に供用を開始しました。ここに至るまでには、国土交通省や地元の地権者の皆様をはじめ、多くの方々の並々ならぬご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

この滑走路延長により、安全性の向上や冬季就航率の改善が図られるとともに、航空機の燃料積載量を増やすことが可能となり、航続距離が飛躍的に延

長されることから、これまでソウル、台北といった近隣地域に限られていた国際チャーター便の直接渡航範囲が大きく拡大いたしました。

このことにより、本県初のハワイへの直行チャーター便の就航が実現し、花巻空港の歴史において特筆すべき記念の日を迎えることができました。

また、去る2月17日の、国際線への乗継が大変便利な中部国際空港の開港により、本県からの海外旅行がより身近になったほか、3月18日から31日までの春休み期間は、県民に人気の高い沖縄線も毎日運航され、花巻空港は、大変活気に満ちました。

今後は、新ターミナル地域の完成に向けてさらに努力するとともに、国内や海外への空の玄関口として、より一層ご利用いただき、みなさまに快適な空の旅を満喫していただければと思います。

式典の様子



混雑するロビーの様子



夜の滑走路に滑り込むB767



滑走路延長整備事業による効果

欠航が減り就航率が向上します!

これまでの滑走路を南側に500m延長し、滑走路延長が2,500mになります。花巻空港は、雪氷による運航制限により冬季の就航率が低下していましたが、滑走路延長によって運航制限が緩和されるため、欠航が減り就航率が向上します。また、遅延についても改善されるため、安全な運航の確保と公共交通機関としての信頼性の向上が図られます。

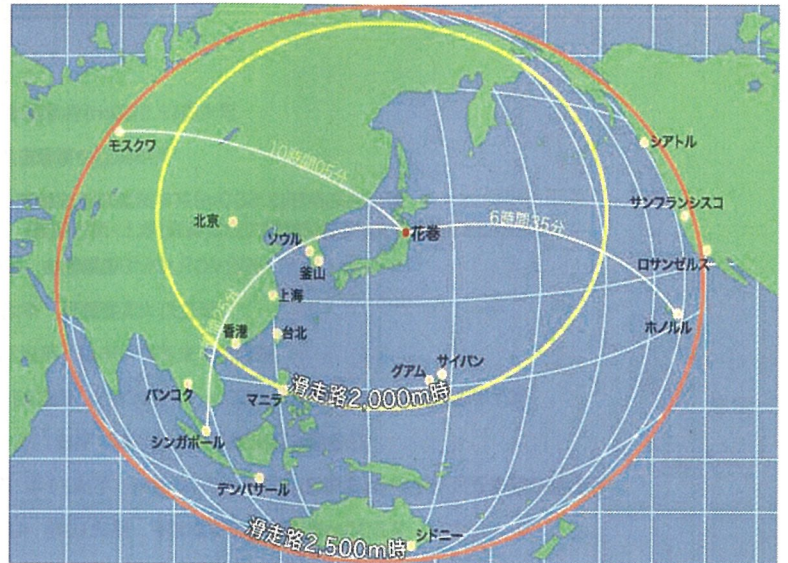
降雪期の運航状況



降雪期の除雪状況

より遠くの海外へ渡航が可能に！

滑走路延長により航空機の燃料積載量を増やすことが可能となり、航続距離の大幅な延長が可能になります。これにより、これまでではソウル、台北などアジア近隣都市までに限定されていた直行便の渡航先が拡大し、ホノルルやシンガポールなどより遠くの都市へ直接渡航することが可能になります。



※ 飛行時間については、運航条件等により実際とは異なります

全体整備スケジュール

工種 / 年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
用地取得	[Progress bar]											
補償工事			[Progress bar]									
用地造成			[Progress bar]									
滑走路(地上/延長)			[Progress bar]									
ターミナル地域			[Progress bar]									
平行誘導路							[Progress bar]					
照明設備			[Progress bar]									
電源設備												

※ 平成21年度以降のスケジュールについては、平成20年度の県公共事業評価委員会の意見を踏まえて決定する。

1期供用 ▲ 2期供用 ▲

花巻空港整備事業のスケジュール

「岩手県行財政構造改革プログラム」の中で、公共事業費を16年度まで段階的に14年度当初予算に比べ30%削減し、大規模施設整備事業についても聖域なく見直すこととしています。

花巻空港整備事業についても全体事業計画の見直しを行い、今後の整備スケジュールを次のとおりに変更しています。

- 1 滑走路延長は当初予定とおり17年3月供用とする。
- 2 新ターミナルの供用開始は2年延期し19年度とする。
- 3 平行誘導路は、岩手県公共事業評価委員会に諮ったうえで、16年度から予定していた舗装工事を当面5年間休止する。

滑走路延長整備の 変遷



平成 13年 4月



平成 14年 6月



平成 15年 6月



平成 16年 7月



平成 16年 10月

愛称「いわて花巻空港」、キャッチフレーズ「イーハトーブの風にのって」に決定！

岩手県空港利用促進協議会では、2,500m滑走路供用開始を機に、花巻空港をより身近なものとして親しんでいただくとともに、さらに知名度を高め、一層の利用拡大を図るため、愛称及びキャッチフレーズを全国から作品を募集したところ、多数のご応募をいただきました。

応募作品の中から、3月15日の協議会総会において、愛称「いわて花巻空港」、キャッチフレーズ「イーハトーブの風にのって」および優秀賞各2作品を決定いたしました。ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。

愛称「いわて花巻空港」選定理由

岩手の空港であることが誰にでもすぐにはわかっていただけることから、花巻空港の知名度を高めるとの愛称制定の趣旨に最もふさわしい作品であること。また、「いわて」が平仮名表記であり、ソフトなイメージで広く受け入れられやすい印象であること。

キャッチフレーズ「イーハトーブの風にのって」選定理由

シンプルな表現で、イーハトーブという言葉は県民にも馴染みが深く、また、ドリームランド岩手や宮沢賢治のイメージをメッセージとして全国に情報発信できること。また、県民の方々にさらに花巻空港を利用いただくこと、全国のお客様に岩手にお出でいただくことの両方のメッセージ性を有していること。

沿革



- 滑走路(2,500m)供用開始 平成17年3月17日
- 供用開始の官報告示 平成17年 2月
- 滑走路延長部(2,500m)基本施設の完成検査 平成16年11月
- 滑走路延長部(2,500m)照明施設の完成検査(地上・飛行検査)
- 新設VOR/DME供用開始 平成15年 1月
- 航空灯火変更許可 平成12年12月
- 航空灯火変更許可申請 平成12年10月
- 飛行場施設変更許可(滑走路:2,000m→2,500m) 平成11年11月
- 花巻空港臨空都市構想の公表 平成11年 6月
- 飛行場施設変更許可申請(滑走路:2,000m→2,500m) 平成11年 5月
- 2,500m滑走路整備事業着手 平成10年 4月
- 地方空港整備特別事業として2,500m滑走路延長が盛り込まれた 平成 8年12月
- 第7次空港整備5ヶ年計画閣議決定
- 中型ジェット機対応空港として供用開始 平成 7年 4月
- 精密進入角指示灯(PAPI)供用開始 平成 2年 3月
- 昭和58年 3月 新滑走路(2,000m)供用開始。花巻空港ジェット化開港
- 昭和57年11月 飛行場施設変更工事の完成検査
飛行場灯火変更工事の完成検査(地上・飛行検査)
- 昭和56年12月 新エプロン2バース供用開始
- 昭和55年11月 新滑走路(1,200m)部分供用開始
- 昭和55年 8月 運輸省東京航空局VOR/DMEの供用開始
- 昭和55年 6月 岩手県空港ターミナルビル株式会社設立
- 昭和53年 8月 航空灯火変更許可
- 昭和53年 6月 航空灯火変更許可申請
- 昭和51年10月 国の第3次空港整備5ヶ年計画閣議決定
- 昭和50年12月 飛行場施設変更許可(滑走路:1,200m→2,000m)
- 昭和50年10月 空港の施設変更に関する公聴会の開催
- 昭和50年 9月 飛行場施設変更許可申請(滑走路:1,200m→2,000m)
- 昭和48年11月 空港拡張用地の買収開始
- 昭和48年 9月 新県勢発展計画策定。花巻空港の滑走路を、当面2,000mに拡張することを表明
- 昭和47年 3月 空港拡張整備計画が盛り込まれた第2次空港整備5ヶ年計画閣議決定
- 昭和46年 6月 知事、県議会で拡張計画を表明
- 昭和39年 2月 第三種空港として供用開始(滑走路1,200m)
- 昭和36年11月 飛行場設置許可



平成16年 滑走路延長部完成



平成9年 滑走路2,500m整備事業着手前の2,000m滑走路



昭和56年 1,200mで暫定共用中の2,000m滑走路工事



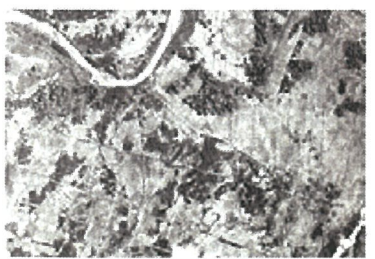
昭和55年 1,200mの滑走路と建設中の2,000m滑走路



昭和43年 開港当初(1,200m滑走路)



昭和39年頃 開港当時の花巻空港



昭和22年 空港建設前